

令和4年度 京都府知事と京都府商工会議所連合会との懇談会

日時 令和4年11月21日

場所 ホテルグランヴィア京都

【宮津商工会議所要望事項】

1 天橋立の世界遺産登録について （重点要望項目）

京都府におかれましては、天橋立の国内暫定リスト登録に向けまして、様々なご支援を賜り感謝申し上げます。

本年は、「天橋立名勝100年・特別名勝70年」の記念すべき年であり、去る9月21日には実行委員会主催による田中彩子・モノオペラ「細川ガラシャ」天橋立公演が実施され天橋立の歴史的・文化的な魅力が国内外に情報発信されました。

当会議所といたしましては、天橋立の国内暫定リスト登録に向けまして、こうした取り組みによる地域の気運醸成をはじめ天橋立の保護保全の取組を進めてまいりますので、文化庁の京都移転を契機とし、天橋立の世界遺産登録国内暫定リスト入りに向けまして取組みを強化していただきますようお願いいたします。

2 宮津エネルギー研究所の再開発の推進について （重点要望項目）

京都府におかれましては、宮津エネルギー研究所の再開発について、関西電力株式会社への働きかけなどご支援をいただき感謝申し上げます。

宮津エネルギー研究所については、宮津市から再稼働に拘らず、地域経済の振興に資する事業について検討を行っているとお聞きしております。

こうした中、京都府におかれましては、宮津エネルギー研究所エリアを京都府の「産業創造リーディングゾーン(仮称)」に位置付けていただくなど企業誘致による産業振興と地域活性化に向けた取組を進めていただきますとともに、引き続き宮津市と連携し関西電力株式会社へ強く働きかけをお願いいたします。

3 観光復興に向けた取組について

(1) 観光庁「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」について

京都府のご支援をいただき、宮津市が観光庁の「地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業」の採択を受けましたことに感謝申し上げます。

当地の観光事業者におきましては、ポストコロナを見据え、観光庁の事業を活用し、宿泊施設や観光施設の高付加価値化に資する施設改修(30施設・総事業費約16億円)と観光誘客に向けたソフト事業「宮津観光圏実証事業」を実施しています。

こうした中、観光事業者からは、本事業の来年度継続の要望を聞いており、本事業が来年度も継続されますよう、観光庁への働きかけをお願いします。

(2) 宮津港へのクルーズ客船の寄港誘致について

当会議所におきましては、ポストコロナを見据え海を活用した観光振興が重要であると考えております。

ヨーロッパのエーゲ海クルーズでは、沖止めした客船からテンドーボートで下船し、世界遺産や街並みなどを楽しむ船旅に人気があるとお聞きしております。

宮津港におきましては、これまで「飛鳥II」や「ぱしふいっくびいなす」が寄港し、沖止めする中で乗船客は通船にて宮津棧橋、天橋立棧橋に下船し、天橋立をはじめとしたオプションツアーが実施され京都府北部地域の観光振興に寄与してまいりました。

こうした実績を踏まえ、さらなる宮津港の活用による観光振興を図るため、クルーズ客船の寄港誘致について、ご支援を賜りますようお願いいたします。